

学生まちづくりワークショップについて

1. 学生まちづくりワークショップの目的

まちづくり構想の想定年次である 2040 年代を担う若い世代の意見をまちづくり構想に取り入れるため、都市計画やまちづくりを学んでいる大学生を対象に、良いところや課題、若い世代に選ばれるまちづくりについて意見交換を行います。

2. 実施概要

(1) ワークショップの内容

学生ワークショップは 2 日間に分けて実施いたします。2 日間の主な内容は下表のとおりです。

回	日程	テーマ	主な内容
第 1 回 WS	6/8 (日) (終日)	木曽山崎団地地区を知る	- 木曽山崎団地地区の現状について（事前授業） - まちの課題や魅力を発見する「まち歩き」 - グループワーク「いまの木曽山崎団地地区を語ろう」 →木曽山崎団地地区の「良いところ」や「改善点」について意見交換
宿題		将来の木曽山崎団地を描く	2040 年のまちの姿や、実現に向けた取組の提案を考える。
第 2 回 WS	7/6 (日)	提案発表・ディスカッション	- 宿題のプレゼンテーション＋意見交換 - グループワーク「木曽山崎団地地区の将来像についてディスカッション」 →提案を発表しあい、ディスカッションを通して、ブラッシュアップする。

第 1 回ワークショップの日程および開催場所については下記の通りです。

①日時：6 月 8 日（日）10：00～15：00

②開催場所：桜美林大学町田ひなたやまキャンパス 桜美林芸術文化ホールひなたやま交流プラザ

第 2 回ワークショップの日程および開催場所については下記の通りです。

①日時：7 月 6 日（日）10：00～12：00

②開催場所：桜美林大学町田ひなたやまキャンパス 桜美林芸術文化ホールひなたやま交流プラザ

(2) ワークショップの進め方について

5人1グループでまち歩きから提案まで実施します。活発な議論を展開するため、ファシリテーターは学生が実施することとします。

3. 第 1 回学生まちづくりワークショップについて

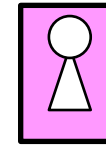
(1) 第 1 回学生まちづくりワークショップの内容

プログラムについては下記の通りです。

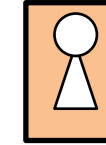
順番	項目	内容
1	事前説明（30 分程度）	- 木曽山崎団地地区の現況、町田市の上位計画について、木曽山崎団地地区とモノレール延伸、まちづくり構想改定について - プログラムの説明
2	まちあるき（120 分程度）	木曽山崎団地地区のまち歩きを実施。
3	昼休憩（60 分程度）	
4	グループワーク（45 分程度） 「いまの木曽山崎団地地区を語ろう」	木曽山崎団地地区の「良いところ」や「引き継いでいきたいところ」、「改善点」について意見交換を実施。
5	発表	
6	講評・質疑応答（30 分程度）	

(2) まち歩きについて

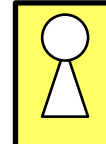
- 木曽山崎団地地区の現況（課題や良いところ）を把握するため、木曽山崎団地地区のまち歩きを実施します。
- まち歩きを行うにあたっては、ペルソナ設定を行います。参加者には以下の人物になった視点でまちの良いところや課題、提案などを考えながらまち歩きをし、ワークショップでの意見交換に反映してもらいます。



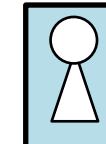
来訪者 A 20 代後半（2025 年時点）
・感度の高い来街者。町田駅付近に在住、都内の会社に勤務。まちづくりに精通。



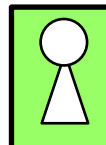
来訪者 B 10 代後半（2025 年時点）
・木曽山崎団地地区に所在する大学に通っている学生。絵画（油絵）専攻。町田市近郊在住。電車とバスで通学。



居住者 A 20 代後半（2025 年時点）
・木曽山崎地区に引っ越してきたこども 1 人の親



居住者 B・10 代後半
・山崎団地で育った高校生。来年大学進学か就職か迷っている。



居住者 C・20 代前半
・木曽山崎地区で育った地域の担い手。
・団地センター地区でカフェを営んでいる。

(3) グループワーク「いまの木曽山崎団地地区を語ろう」について

- 木曽山崎団地地区の「良いところ」や「引き継いでいきたいところ」、「改善点」について意見交換をします。まち歩きを行う前に設定した人物の視点を意識しつつ、ディスカッションを行います。
- 現まちづくり構想で示されている 5 つの課題の分類を提示し意見交換を行います。また、付箋の色は人物設定ごとに行います。
- 即地的な意見については地図上で整理を行います。

	安全・安心	コミュニティ (多世代交流)	利便性	まちの魅力	環境	その他
まちの良いところ	しっかりと歩道があって安心して歩ける	団地センター地区にあるコミュニティが面白い	町田駅まで直結する連結バスが便利！	サッカーグラウンドがあって良い	みどり豊かな環境は良い！	
まちの改善点	桜美林大学と団地センター地区を結ぶ道が怖い	集会所がどこにあるのか分かりにくい。	団地とスーパーが遠い。 コンビニが近くにいい	もっと若い人のお店が増えてほしい	みどりがうっそうとしており、適正な管理が必要	

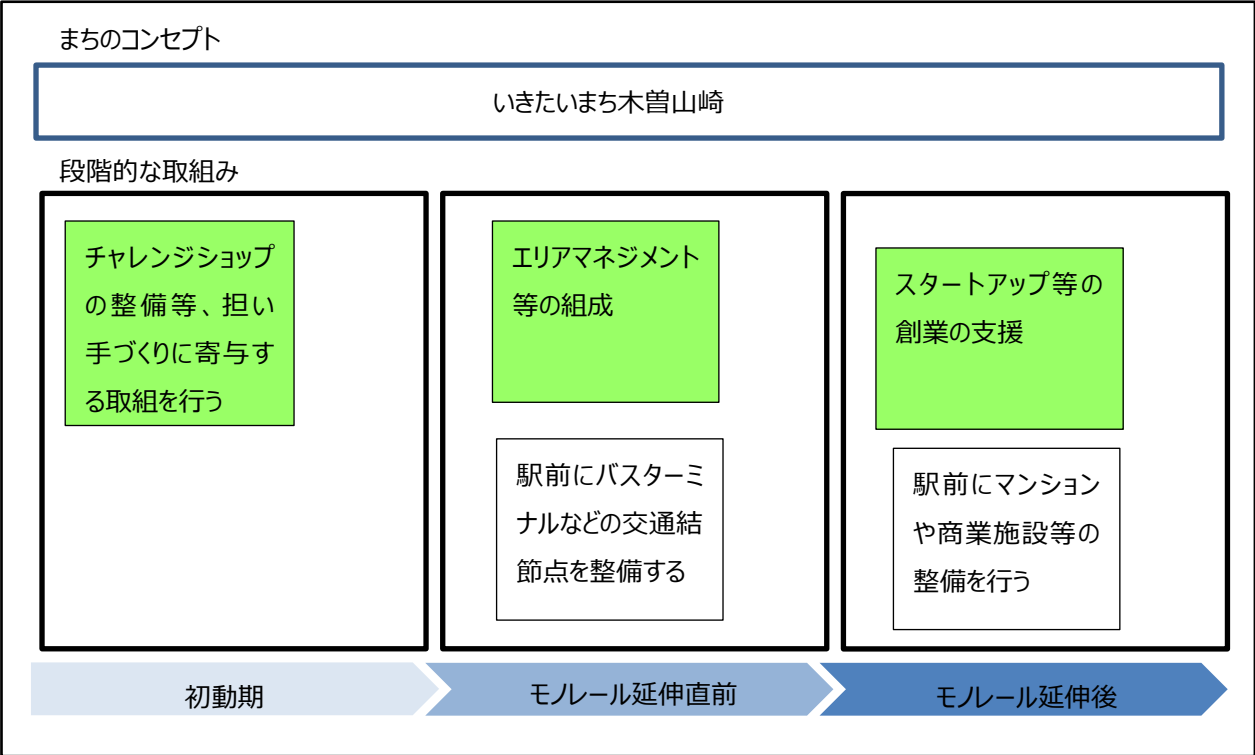
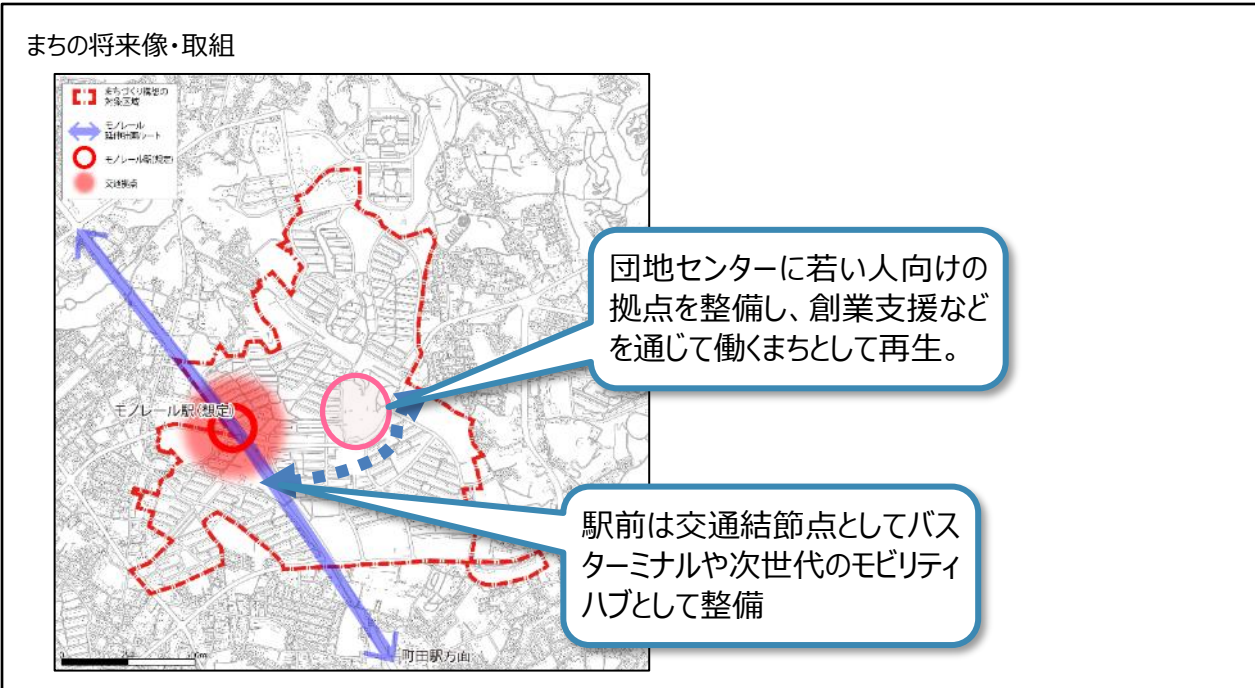
4. 宿題について

(1) 宿題の概要について

- 第1回ワークショップの意見を踏まえつつ、2040年のまちの姿や、実現に向けた取組の提案について行います。
- 第1回WSから第2回WSまでの1か月程度で、提案についてA1×2枚でまとめてもらいます。

(2) まとめのイメージ

- 提案のまとめのフォーマットは自由ですが、「①2040年におけるまちのコンセプトや将来像を掲載すること」、「②取組み・提案についてモノレール延伸前と延伸後で段階的に表現すること」、「③即地的な提案を地図や図面で表現すること」、以上3つは必須とします。また、可能であれば、まち歩き前に実施した人物設定ならではの提案もしてもらいます。



5. 第2回学生まちづくりワークショップについて

(1) 第2回学生まちづくりワークショップの内容

プログラムについては下記の通りです。

順番	項目	内容
1	プレゼンテーション＋質疑応答（50分程度）	宿題の発表 先生、学生、町田市、コンサル、居住者を交え質問、ディスカッション
2	グループワーク（30分程度） 「提案をブラッシュアップしよう」	自分たちが検討した提案についてブラッシュアップ
3	発表（20分程度）	ブラッシュアップした提案を発表
4	講評・質疑応答（20分程度）	発表について清水教授や町田市、URリンケージが講評。

(2) プレゼンテーション＋質疑応答

- 宿題で提案した「2040年のまちの姿や、実現に向けた取組の提案」について、グループ毎にプレゼンテーションを行います。学生同士で良かったと思う点、改善すべき点についてディスカッションを行います。
- また、提案については、清水教授や町田市、URリンケージからも質問・講評し、グループワーク「提案をブラッシュアップしよう」につなげていきます。

(3) グループワーク「提案をブラッシュアップしよう」について

プレゼンテーションを受け、更に伸ばすべき提案や改善すべき提案などのブラッシュアップを行います。ブラッシュアップについては、提案したプレゼンテーションボードの上に付箋やトレーシングペーパーを貼っていき、分かりやすくまとめていきます。

